

平成24年 富士見町重大ニュース



※富士見高校養蜂部については、前ページのとおりです

富士見町立落合小学校 閉校式



◆落合小学校閉校(3月)

岩本節次先生の唱えた「慎其独」は、落合教育の基礎として140年の長き歴史を刻み、親しまれました。その落合小学校が、惜しまれながらも閉校となりました。

◆メガソーラーの町づくり開始(年間)

県営産業団地(県)と平岡・烏帽子住宅団地用地(町)にそれぞれメガソーラー発電計画が決定しました。



◆「教育の町」事業開始(4月～)

英語教育を小学校1学年まで拡大し「家庭学習の手引き」を発行、夏季・冬期には「無料塾」開講、また、教育未来会議(エデュ・Cafe)を地区単位で開催しました。(写真:エデュ・Cafeの様子)



◆図書館貸出数14年連続日本一を達成(年間)

同規模の自治体図書館における町民一人当たりの年間貸出冊数が、14年連続で日本一となりました。



◆パノラマリゾート夏季営業初の黒字化(11月)

グリーンシーズンの入込みが95,614人となり、営業開始以来はじめてグリーンシーズンの収支が黒字化しました。



◆福祉施設の整備充実(4月・7月)

境地区の拠点施設「清泉荘」の全面改築工事と、本郷地区に町内初の小規模多機能施設「一本松の家」がオープン。また、障がい者のための地域活動支援センター「赤とんぼ」が瀬沢新田に移転オープンしました。(写真:清泉荘)



◆さらなる安心・安全のまちづくり(年間)

災害時に、第二次避難所の役目を果たすべく、町民センター耐震補強工事・役場庁舎外壁補強工事を実施しました。

また、フェイスブックを活用した防災訓練の試験実施も行いました。



◆農業の生産性向上と担い手確保の推進(年間)

平成14年度から有害鳥獣対策で整備を続けてきた、電気柵の囲い込みが完成しました。(総延長は42km)

また、県外農業生産法人が誘致パッケージ制度により西山地区に進出、生産を開始しました。